

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 富野小学校】

1 実践テーマ	I・II・ III ・IV・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	5年生(46名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科等名(総合的な学習の時間) ② 行事名() ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名(第15回北九州市小学生車いすバスケットボール大会) ② その他()
4 目標 (ねらい)	未来の社会を担う今の子どもたちが、車いすバスケットボールの練習や試合の体験をすることにより、競技の楽しさを知るとともに、障害のある人に対する理解と認識を深めバリアフリーの意識や人への優しさを養うことができるようにする。
5 取組内容	<p>○ 北九州市小学生車いすバスケットボール大会への出場に向けて、事前学習として、障害者スポーツセンターアレアスより、週1回講師を招き、車いすバスケットボールの練習を行った。(6月～11月)</p>  <p>○ 第15回北九州市小学生車いすバスケットボール大会に出場し、他校との試合や、車いすバスケットボールの選手の方々との交流を行った。(11月12日)</p> 

	<p>○ 事後学習として、福澤翔選手を招き、お話を聞いたり、質問をするなどして、障害のある人に対する理解と認識を深める交流を行った。(11月26日)</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>事前と事後でアンケートを実施したところ、「パラリンピックに興味・関心があるか。」という項目において、「興味がある。」と回答した児童が事前では全体の25%未満であるのに対して、事後が全体の60%以上に上昇していた。また、児童の学習後の感想で、「車いすバスケットボールは、障害の有無に関係なく楽しめるスポーツと知った。」「車いすの方を見かけたら手助けをしたい。」「将来、障害がある方と協力してできるような仕事に就きたい。」といった考えが多数あがっていた。</p> <p>これらのことから、この取組を通して、児童の中の障害に対する「知らない。」を「知っている。」に変化させ、障害のある方に対する理解や、パラスポーツに対する興味や関心を深めることができたのではないかと考える。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>5年生の総合的な学習の時間「心のバリアフリー」として実施し、児童が、ただ車いすバスケットボールを楽しむというわけではなく、多様な人がいるということや、それぞれが協力して社会を築いていく必要があるということ意識しながら学習できるように心がけた。また、障害者スポーツセンターアレアスの方を招くのは週1回であったが、受けた指導をその1時間のみでなく、学校での活動全てに関連づけて学習を進めていった。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>特になし</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>今年度実施した5年生の児童が下学年(4年生と3年生)に、総合的な学習の時間を活用して、自分たちが取り組みを通して学んだことや、競技用の車いすを用いて、車いすの乗り方を伝える時間を設けた。この取組を次年度以降、学校として受け継いで、継続的に実施していきたいと考えている。</p>